

津田塾大学同窓会秋田支部 第21回公開研修会

「パイオニアとしての津田梅子～ 女性の社会参画にかけた夢」

日時: 令和元年10月5日(土) 14:00~15:30

会場: 秋田拠点センター アルヴェ1F 音楽交流室D

(秋田駅東口直結) TEL: 018-887-5310

講師: 津田塾大学学長・同大 学芸学部英語英文学科教授

たかはし ゆうこ
高橋 裕子氏



講師プロフィール

1980年津田塾大学英文学科卒業。84年筑波大学大学院修士課程修了。米・カンザス大学大学院にて83年M.A. 89年Ph. D.取得。97年津田塾大学助教授、04年同教授、16年より学長。専門はアメリカ社会史(家族・女性・教育)、ジェンダー論。著書に『津田梅子の社会史』(玉川大学出版部、2002年、アメリカ学会清水博賞)、『女性と高等教育- 機会拡張と社会的相克』(昭和堂、2008年)(分担執筆)、『家族と教育』(明石書店、2011年)(共編著)、三成美保編著『教育とLGBTIをつなぐ- 学校・大学の現場から考える』(青弓社、2017年)(分担執筆)等。アメリカ学会会長、ジェンダー史学会常任理事、日本学術会議連携会員、日本私立大学連盟常務理事



2024年発行予定の新5000円札の肖像に採用が決定した津田梅子。明治政府より最初的女子留学生の一人として、最年少の6歳で米国に派遣された梅子は、2度の留学中に体得した教育理念を具現化すべく、1900年、日本で最初の女性のための高等教育機関の一つである“女子英学塾”(津田塾大学の前身)を創設しました。その開学精神を引き継ぎ、大学は“現代社会が直面するさまざまな課題の解決を通じて、社会に貢献できる女性の育成”を目指し、2017年4月、JR千駄ヶ谷駅前の新キャンパスに総合政策学部を開設。新たなステージへ大きく歩を進めました。本公開研修会は、1996年支部発足以来、社会還元の一環として継続してきたものです。当地においても女性の社会参画の意義や必要性がようやく認識されるようになった現在、男女を問わず立場を超えて私たちに求められていることは何なののでしょうか。幅広い世代の方々のご参加をお待ちしております。

定員: 40名(先着順)

お申込み・お問い合わせ先: 津田塾大学同窓会秋田支部事務局

Tel: 090-9536-6314 / 090-1491-7326 (時間: 10:00~19:00)

E-mail: rimofuji@gmail.com